

お知らせ

INFORMATION

No.2018-27
2018年9月
病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。併せて旧検査コードにつきましては受付中止とさせていただきます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

- ◆ RAS・BRAF 遺伝子変異解析 [38041] …検査実施施設 (S)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》: 2018年9月28日 (金)

【検査受付中止について】

- ◆ RAS 遺伝子変異解析 [16737] …検査案内掲載 P87 検査実施施設 (S)

《最終受付可能日》2018年9月27日 (木) 受付分まで

【新規項目情報】

項目名称	RAS・BRAF 遺伝子変異解析
コード	38041
検体材料 保存	未染標本スライド5枚 室温
提出	ご依頼書でのご提出の際はO伝をご使用ください。
検査方法	PCR・r SSO 法
基準値 (単位)	なし
所要日数	5～9 日
実施料 (区分)	4000 点 (D004-2 「1」 悪性腫瘍組織検査 (注イ) 包括 2 項目)
判断料	尿・糞便等検査判断料 34 点
備考	<p>病理材料でRAS及びBRAF遺伝子(KRAS遺伝子、NRAS遺伝子ともにexon2 codon 12,13、exon3 codon 59,61、exon4 codon 117,146を、BRAF遺伝子は、exon15codon 600)の変異解析を目的としております。病理材料以外は受託できません。</p> <p>●未染標本スライド材料について ご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5～10μmにて連続切片を作製ください。作製したスライドは、室温保存にて速やかにご提出ください。また、未染標本スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを事前に確認のうえ、ご提出をお願いします。</p> <p>また、病理検査材料は、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては解析不可能となる場合がありますので、予めご了承ください。他項目との重複依頼は避けてください。</p> <p>●留意事項 本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合の保険請求上の名称は「BRAF 遺伝子検査」および「RAS 遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝子検査 (2 項目) の所定点数となります。</p>

RAS・BRAF 遺伝子変異解析

生体由来組織中の RAS 遺伝子エクソン 2 (コドン 12、13)、エクソン 3 (コドン 59、61)、エクソン 4 (コドン 117、146) 変異及び、BRAF 遺伝子変異 (V600E) を解析する検査です。

切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌の化学療法開始前に RAS 及び BRAF 遺伝子変異を確認し、各遺伝子変異の有無に応じて治療法を層別化する検査として有用です。

大腸がん診療における遺伝子関連検査のガイダンス第 3 版に、切除不能進行再発大腸がん患者に対し、一次治療開始前に BRAF V600E 遺伝子変異検査を実施することが推奨されています。

参考文献：Bando Het al., BMC Cancer,13:405,2013. (検査方法参考文献)

大腸癌研究会：大腸癌治療ガイドライン医師用 2016 年版 (臨床的意義参考文献)

以上